



R I. 第2620地区 静岡第2分区  
三島西ロータリークラブ

# 週報

第1981号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F  
TEL(055)976-6351 FAX976-6352  
例会場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島  
TEL(055)984-0120  
会長 諏訪部照久 幹事 千葉 慎二



広重版画より 三島 朝霧

## 第2044回例会

2014.10.9晴

### 司 会

三田明宏君

### ロータリーソング

「我等の生業」  
指揮 登崎久夫君

### 会長挨拶

会長 諏訪部照久君

皆さん今晩は、次回の例会は19日に見晴学園にて行います。この「みはらしフェスティバル」に出店する行為はWe serveです、沢山のメンバーの参画をお願いします。

さて話は変わりますが、先日某機関紙で企業が新卒採用に関するアンケートの調査結果を公表しました。そのデータによりますと、採用選考にあたって重要視した上位五位は①コミュニケーション能力(過去11年間連続トップ)②主体性③チャレンジ精神④強調性⑤誠実性でした。又、リーダーシップ・勤労意識・創造性・一般常識は中位で、なんと倫理観・感受性は下位でした。ちなみに私の学生時代は、巨人の星・あしたのジョー・アタックNO.1・ミュンヘンへの道・ど根性ガエルなど、根性もののマンガが流行した時代でした。マンガは、当時の世相を表現していますから、当然採用の面接でも根性があるか、忍耐強いのか、愚痴をこぼさないか等に関心があったと思います。よって某飲料メーカーの面接で、一言も答えず、なぜ君は何も答えないのか、の問いに「男は黙ってサッポロビール」と言って採用された話も、当時求められた社員像だったのでしょ。それにしても、倫理観と感受性が下位だった事にはがっかりさせられました。11年間トップだったコミュニケーション能力と昔人気があった不言実行や浪花節的な世界観の相違も時代の価値観の違いなのでしょう。いずれにしろ今現在、同じ環境で何かの違いを感じながら、一緒に仕事をしているのは現実の事なのです。よって、それらの事を理解しながら改善して行かないと、調和がとれなくなり統合が出来なくなりますので、十分検討する必要があります。話をロータリー活動に戻しますが、先日ガバナーが話された

なかに、「昔の日本のボランティアは陰徳であったが、今は派手にアピールしてほしい。」旨の要望がありました。たしかに前述したように時代の隔たりを感じますが、この「みはらしフェスティバル」の出店はWe serveであり、これと言って派手ではありませんが、三島西ロータリークラブとしてのボランティア活動をアピールする場となりますので、皆さんの参画を重ねてお願いしまして本日の会長挨拶とさせていただきます。

### 出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	41/46	89.13%	44/46	95.65%
今回	39/45	86.67%	会員総数	50名

欠席者 窪田君、栗原君、鈴木(正)君、花房君、藤江君、柳田君

### 幹事報告

幹事 千葉慎二君

- ①本日は、卓話:野田さん
- ②次週は10月19日(日)例会場・例会日変更。みはらしフェスタ2014。10時開会点鐘。集合時間・駐車場などは社会奉仕委員会よりの案内を。
- ③前日のお手伝い。18日(土)14:00~16:00、北上文化プラザにて。メークアップ扱い。ミセス・ロータリーにもお手伝い依頼。
- ④11月15日(土)、16日(日)浜松にて地区大会。参加希望者は千葉まで。
- ⑤グランドワーク三島より署名と募金の依頼。三島梅花藻の里・湧水地の保全・買収のための緑のトラスト運動。

2014~2015年度  
国際ロータリー会長  
ゲイリーC.K.ホアン

ロータリーに輝きを

## おめでとう

会員誕生日	長田君、宇田川君
入会記念日	諏訪部(敏)君、矢野君、 関本(照)君
奥様誕生日	西本君
結婚記念日	佐野君、瀬川君、古川君、 伊丹君

## スマイルボックス

- ◆ 関本(照)君、当クラブでの交換中学生でお世話になった孫の前田高志君が高校入学時にゴルフ部に入り、2年半のゴルフ歴で、朝霧ジャンボリGCのクラブ選手権に挑戦、先月4週連続勝ち抜き、見事に優勝。18歳での最年少クラブチャンピオンが誕生しました。
- ◆ 諏訪部(敏)君、皆様ごきげんよう。久しぶりの出席です。お見忘れないようにお願いします。
- ◆ 前田(房)君、関本文彦様、いつも写真をありがとうございます。
- ◆ 石井(良)君、お礼が遅れました。先日は西ロータリークラブウエストサイズバンドの皆さんから楽しい演奏のプレゼントをいただき誠にありがとうございました。施設の利用者さんもとても喜んでいました。静岡新聞で紹介されました。

## 卓 話

### 職業(召命)奉仕からミッション(使命)・ワークへ

野田和秀君

当分卓話は無いかなと思っていましたが、そうはさせてもらえませんでした。今日は、昨年度初めのころの会長挨拶で、スターボックス・コーヒーを例に取り上げましたミッションについて、20年近いロータリーライフを振り返りながら話の続きをさせていただきます。

昨年7月に、医看工連携ミシマの総会で講演をして頂いた(尙)さいとう工房の斎藤省社長が、ロータリーの職業奉仕を正に実践されているような方で、人柄と言い非常に強い印象を受けましたので、是非会としても、また個人的にもお近づきを願いたいと思ひまして、この8月に錦糸町の本社工場を正副会長と事務局員3名で訪問してきました。その時頂きましたDVDをこれから皆様にもご覧頂いて話を進めて行きたいと思ひます。

その時に、このDVDと共に斎藤社長から創立20周年記念に配布されたという本「1億総自己ベストの時代、人生の仕事の見つけ方」(高橋佳子著)も頂きました。その中にさいとう工房と斎藤社長がミッション・ワークの事例として5人の例示のひとりとして取り上げられていて、「1億総中流の時代」から上記のタイトルの時代へというキーワードにも惹かれて読了してしまいました。この

本の中でミッション・ワークとして取り上げられていることを知るまでは、斎藤社長は職業奉仕の鑑のような人だと思っていたわけです。

ここで、話が変わりますが、私の学生時代、全共闘の頃ですが、ゼミの教授からゼミ生15名で「中小工業経営」の共同研究をするよう言われて、私ともう一人の友人2人で造反し、彼はマルクスやると言うので、私は、ジャマックス・ウェーバーをやろうということになって、卒論のため私は「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を取り上げ、大塚久雄さんの解説書を頼りに読んでいました。アメリカの東部の地域が研究の対象地域であったこの本が出版されたのが1905年で、ロータリーが始まった年であるということや、ウェーバーが言う職業という意味のドイツ語はBerufと言ひ日本語訳では確か「召命」と訳されていて、ロータリーでのVocationと同じであることがロータリーに入会して判ったわけです。因みに、友人は学者になり、私は、中小工業の経営を30年近くやることになりロータリーでの今日があり、何か「人間万事塞翁が馬」のような感じがします。

ミッションに話を戻します。ミッションという言葉は、日本語では「使命」と訳され、他から与えられた「役割」のような意味でしょうが、最近はどうもミッションという言葉自体が日本語化していて、この前ある教育関係の会社の女性社員の自己紹介欄に興味と同列にミッションがあり驚きました。私は、この「使命」を文字どおり命を使う、つまり自分の命を何に使うかと考えれば、もっと主体的に捉えられかつ直截的に考えが深められるように思ひます。最近会社でISOの認証を取得するときにも、会社の経営理念は何かと問われちょっと戸惑ったりしました。ロータリーで職業奉仕とか奉仕の理念について云々する上でも、この「私のミッションは何か」を問い続け、バージョン・アップしていく方が意外と早道となるのではないかなと思ひます。一昨日の、ノーベル物理学賞を受賞された赤崎教授のインタビューをTVで見て尚その感を強くしました。

去る10月3日東京ビッグサイトで開催された国際福祉機器展にさいとう工房さんが出展されると聞いて、医看工のメンバー数名と行ってきました。社長直々に説明を受け、実際に試乗し操作して、理解を深めてきました。別れ際に斎藤社長が私に話された言葉で印象深い2フレーズを引用して、本日の卓話を終わります。

「ミッションはすべての人が持っているのです」

「私は、60歳を過ぎてから本当に毎日が楽しくてしょうがない」



私の目的は車椅子を作ることではなく、障がい者が自立して、自分たちの生活も環境も自分たちで変えていく、そのような気持ちを引き出される縁となることを願って、今、この仕事をしています。(斎藤社長)

※委員会報告は次号に掲載します。(週報担当:瀬川幸信)